

# 10. 【写真アルバム】 京都堀川 京の七夕

2010. 8. 13.

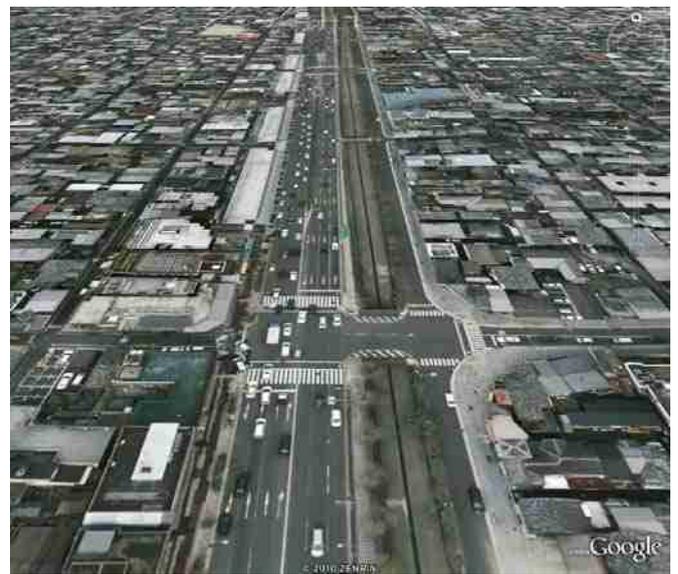
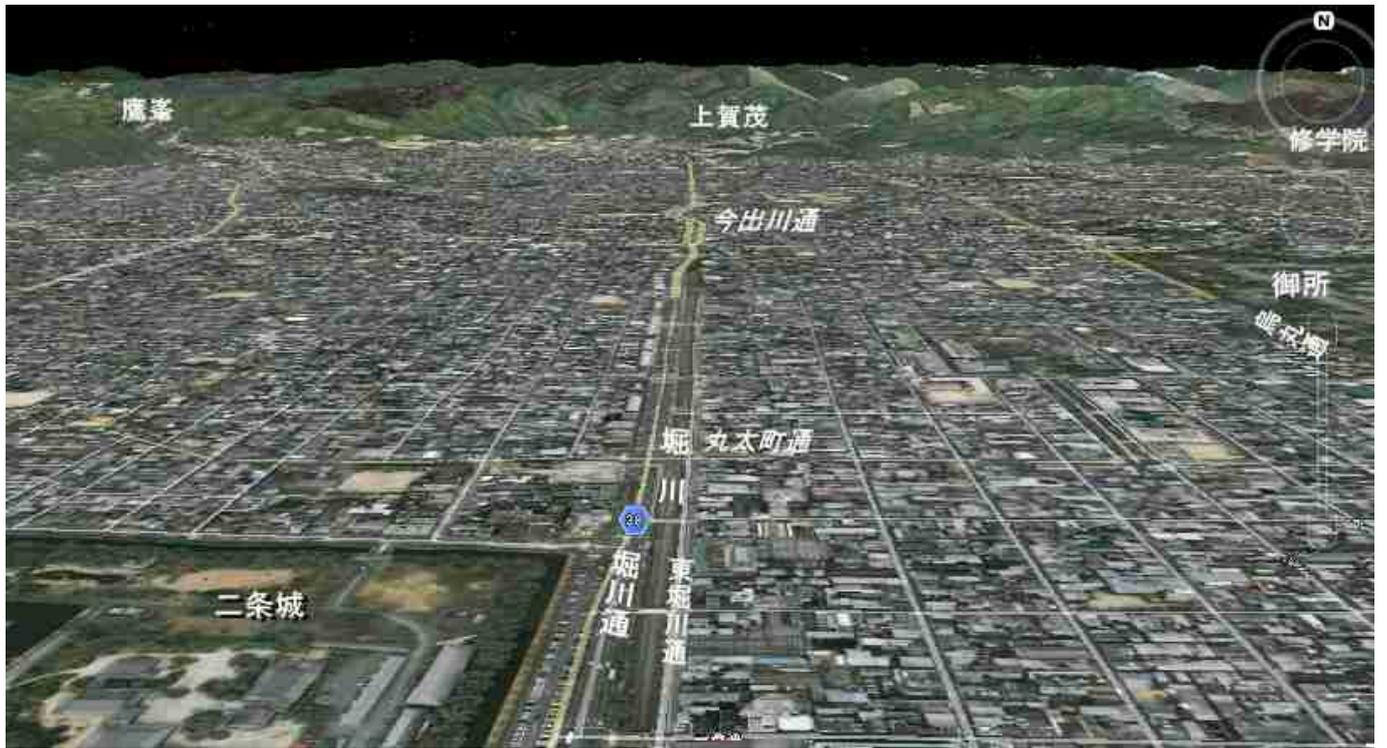


旧暦の「七夕」に当たる8月6日～15日までの夜、京都堀川の河川敷を散策路とする「京の七夕」のイベントが本年よりはじまった。

真っ暗になった堀川の散策路の空に多数のLED電球で再現された天の川、そして七夕飾りで飾られた遊歩道脇には堀川に放流された青い玉画流れくんだり、友禅流しの布がゆれる幻想的な光のページェント。

8月13日の夕刻 お墓参りの帰りに京都堀川の「京の七夕」を楽しんで帰りました。





「京の七夕」の会場は堀川通沿い堀川の河川敷〔二条城横の御池通から今出川通まで〕と聞く。

京都の中央を南北に貫く幹線道路堀川通沿いの堀川。「堀川」といっても、通りに沿って凹状に深く掘り込まれた人工河川に近い状態で、車で何度も通るが、川底は見えず、確かほとんど水は流れていなかったが、堀川通からは数メートル下に川底があり、降りる道などなかったように思う。最近の「堀川」について とんと覗き込んだ記憶がない。

私の学生時代には二条城に面して京の南北を結ぶ広い幹線道路堀川通の東側 柳の木が風になびく堀川の東側 町屋が建ち並ぶ東堀川通を京都駅と北野白梅町を結ぶ日本最初のチ



かつての堀川のイメージ インターネットより

ンチン電車がのんびりと走って、京の新旧が見られる格好の場所だった。其の当時から掘割状の川で 川に降りられるなどのイメージはなかった。堀川の河川敷は掘割の壁で周りと隔てられているので、夜空を眺める散策路としては絶好だろうが、そこが会場といわれるとピンとこない。それにも興味津々である。

インターネットなどで調べてみると

堀川は かつては京都市街地の北西端の船岡山の東麓から流れ出し、京都の中央を南北に流れ下る小さな川であったが、平安京造営の時に、細目を運ぶなど物資輸送の運河として整備され、農業用水・友禪流しなど京の生活にはなくてはならぬ川であった。しかし、現代の市街地発展と共に川としての役割を終え、現在では今出川通より北側と御池通より南側が暗渠となり、其の間だけがオープンになっている。そして 周辺市街地の雨水だけを流すだけの川となり、コンクリートで固められた河床には水がほとんど流れていない状態で、京の街と切り離され、ほとんど京都の人からも川のイメージが消えていった。

京都市では 2004 年からこの堀川のオープン部分 4.4 キロを改修して 流れをとりもどし、市民が親しめる川べりにする事業を推進。

今では 琵琶湖疏水の水を賀茂川を越えてこの堀川に注ぎ込ませ、川床に幅1~2メートル 水深約15センチの水路を設け、堀川の岸から川床に降りる道と共に滝や橋広場を整備し、堀川の川床散策路を2009年に完成させ、堀川のイメージを一変させ、市民の親しめる空間が出来上がっている。

車で通るだけでは まったく知らなかった堀川の変身。「こんなに風に堀川がかわっているのか・・・」と。



素晴らしい川べりが回復された堀川での「京の七夕・ 天の川・光のモニュメント」 本当に楽しみです。

**「京の七夕」 堀川川床散策路で 2010.8.6-8.15.**

- 1. 願い七夕と 堀川を流れるいのり星** 小学生が幼稚園児が書いた短冊を飾りつけた笹飾り LEDが内蔵された香い浮き球が堀川の流れを幻想的なものに
- 2. 光と竹のアート** 全国から募集した光と竹の作品の展示
- 3. 光の友禪流し** かつて堀川で行われた友禪流しを光の中で再現
- 4. 光の天の川** 祈り星が流れる堀川のせせらぎをまたいで竹の巨大モニュメントがライトアップ その上部にすえつけられたLEDが真っ暗な空にきらめく天の川を浮かべ、上がらせ、天の川の両側には織姫と彦星も

墓参りを済ませた8月13日夕刻、堀川北大路から堀川通を真っ直ぐ南へ下ってゆくバスに乗る。

今出川の交差点過ぎて、堀川が道の右手に現れてくるが、いつもと特に変わった様子もない。まだ明るく、堀川端の人も少ないし、大きなイベントがあるようにも見えない。 目を凝らして堀川を眺めながら、少し行くと、堀川の中に人やイベントの飾りがちらちら。下立売のバス停でバスが止まると本と堀川の川底に多くの人が見える。あわててここでバスを降りて、堀川の橋の上に行くと川底には人がぎっしり。

7時に堀川の川床にセットされた七夕飾りのイルミネーションが点灯されるのでそれを待つ人で一杯。

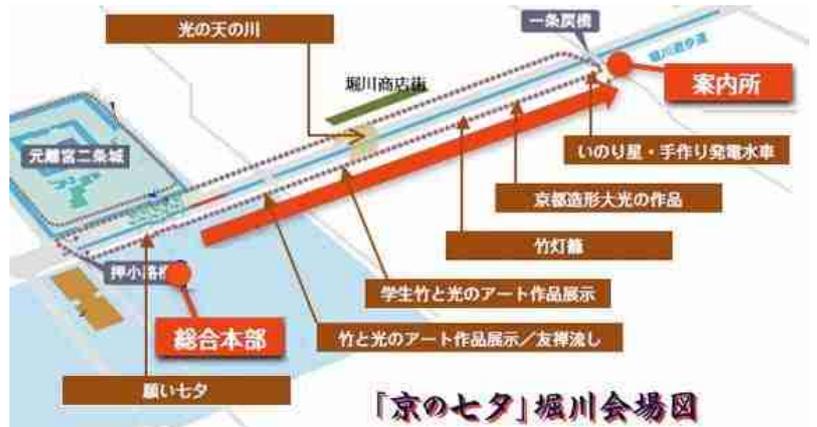
堀川の川床に作られた七夕会場へは 堀川の川底に下りなければ成らないが、一番南側の御池通からの入口から川床に降りて北の今出川通まで七夕会場を散策する一方通行になっていて、途中の橋から川底へ降りる道はすべて閉鎖されていては降りられない。川沿いをぶらぶら南へ下って 押し小路の橋のところから堀川の川床の散策路に降りる。



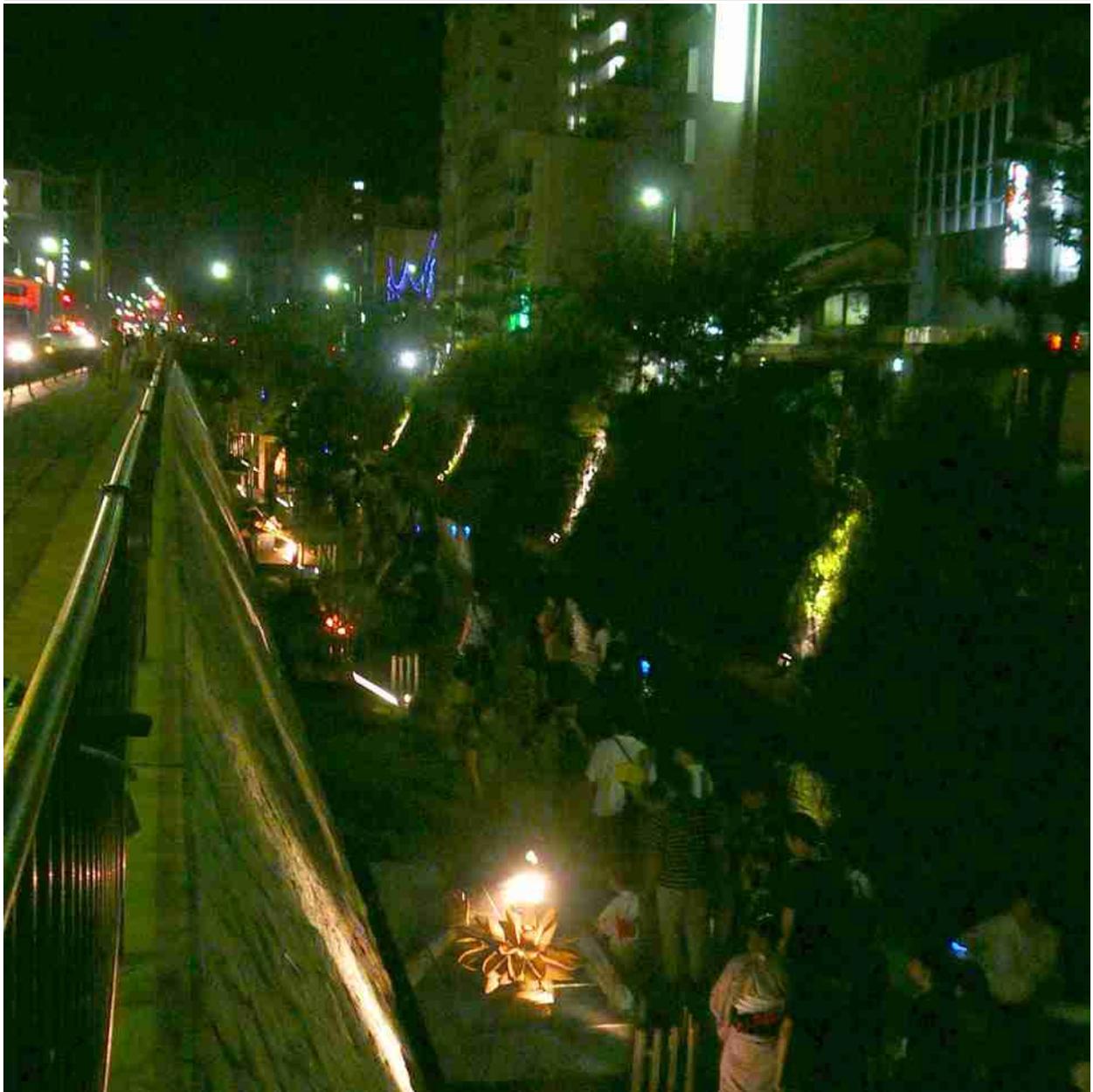
あたりも真っ暗になりかけたちょうど7時七夕飾りに一斉に灯がともり、「京の七夕」が始まり、待ちかねたようにみんな七夕飾りの中を北へ歩き出す。

川床の中央の小さな水路には青いLEDが仕込まれた球「祈り球」が次々と流れ下ってきて、一層幻想的な雰囲気をかもし出す。

ここから約2キロ上流側の今出川出口まで、数々の七夕飾り・天の川や友禅流しや数々の光のイルミネーションがしつらえられている。



堀川の川床 青いLED球が流れ、七夕飾りなどを眺めながらの散策 「京の七夕」のスタートです



堀川の川床のプロムナードを舞台に行われた「京の七夕」

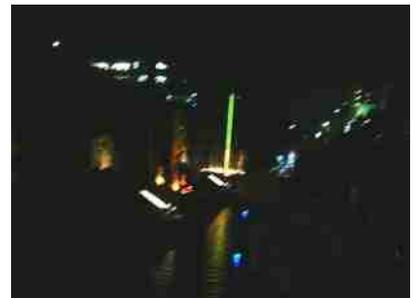
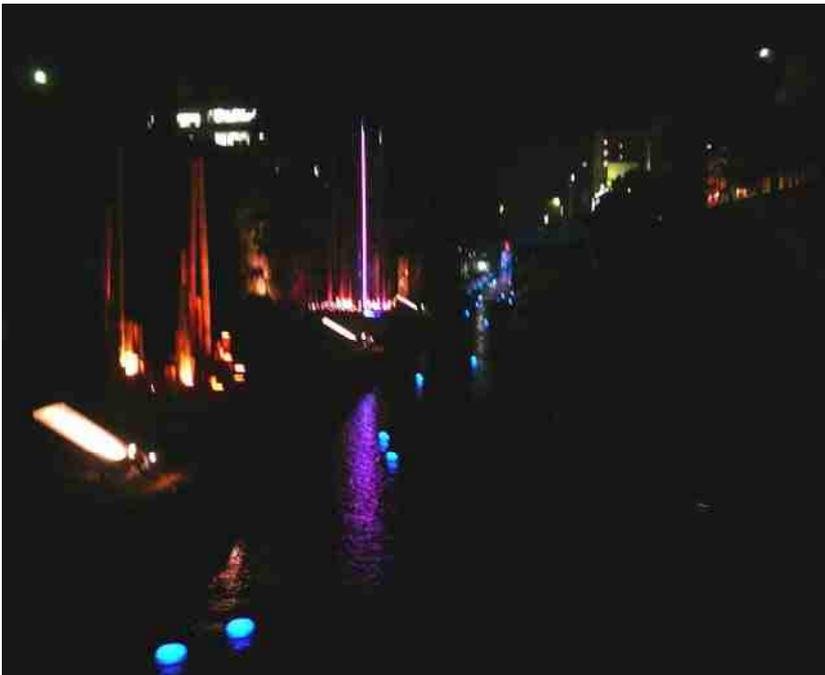
2010. 8. 13. 堀川で



京の七夕飾り

2010. 8. 13.

京の七夕 堀川会場で



竹と光のアート作品

2010. 8. 13.

京の七夕 堀川会場で



堀川での友禅流し

2010. 8. 13.

京の七夕 堀川会場で



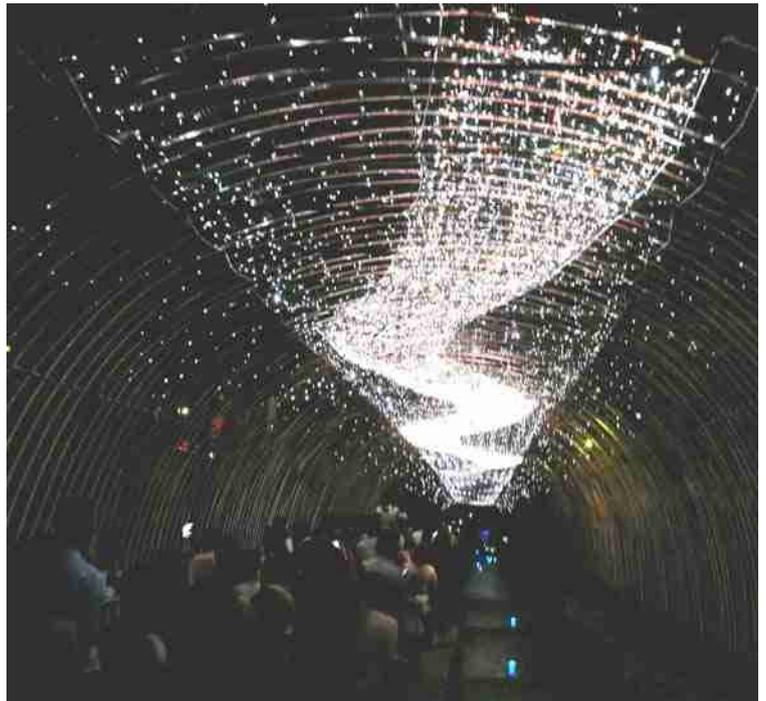
堀川での友禅流し

2010. 8. 13.

京の七夕 堀川会場で



堀川の川床からながめる市街地と堀川の流れ



光の天の川 空には光の天の川 足元にはLEDの青い球が流れます 2010. 8. 13.



光の天の川 空には光の天の川 天井には織姫と彦星が輝いていました 2010. 8. 13.